

《短歌》

アクトン 旧高二

満月を 大事な君と 眺めたい

星を見ながら 「あなたが好きだ」

【評】 大事な君を想う絵麻さんの気持ちが伝わってきます。満月と一緒に眺められますように。

友達と 過ごす放課後 気がつけば

街灯はもう オレンジ色に

アクトン 旧高二

【評】 放課後、何かに夢中で取り組んでいて時間のたつのも気が付かない程、充実した時を過ごしていた様子が伝わってきます。

倒木から 芽生えた新樹 生い育ち

絶えた者から 生命が湧く

アクトン 旧高二

【評】 倒木から新樹が育つのを、強い生命力を感じた様子がよく詠まれています。

《生活文》 心が折れそうになったよ

アクトン 旧日七

去年の春のことです。私はクリスマスに買ってもらったばかりの電話を持って友達の家に行こうとしました。その時にお母さんが、私のジャケットのポケットは電話がすべり落ちやすいので、ポケットに入れて歩かないでと言いました。私は落ちることはないと思っていたので、「大丈夫」と言ってお母さ

んの言うことを聞きませんでした。でも、私は本当に電話をポケットから落としてしまったのです。しかも友達の家以外の階段からコンクリートの上に落ちてしまったので、画面がめちやくちやになってしまいました。

買ってもらったばかりの電話、お母さんが注意したのに言うことを聞かなかったこと、全部が頭の中でぐるぐると回っていて、私はお母さんにしかられ、お母さんの悲しい顔と、こわれた電話を見て、心が折れそうになりました。

その時お父さんが私に、「せきにんをもって自分のお金でなおしなさい。明日いっしょに電話屋さんに行つてあげるから。」と言いました。

私が少しずつためた銀行のお金はへったけど、自分でやったことを自分でかいつつして、これからはお母さんが言ったことはよく聞こうと思うことができましたので、私の心は折れませんでした。

【評】 なぜ心が折れなかったか。小さな失敗から得た大切なことが、ていねいに書かれています。

《感想文》 豊臣秀吉の伝記を読んで

フレント 旧小五

ぼくは、豊臣秀吉についての伝記を読みました。なぜ、豊臣秀吉にしたかという、頭を使って、たくさんさんの戦を勝ち抜くのがとても爽快だったからです。

ぼくが豊臣秀吉の伝記を読んで強く印象に残ったところは、三つあります。

一つ目は、秀吉が身分の低い百姓に生まれたことです。なぜなら、やがて天下をとる秀吉が、百姓から大出世したことを知って、驚いたからです。織田信長など他の大名は、もともと身分の高い大名の子に生まれてきているのに、秀吉は百姓から大名に大出世したと知り、本当にすごい人だなと思いました。二つ目は、秀吉がとても戦上手だったところです。

高松城の水攻めでは、川の水を流し込み、城全体を水ぼつさせ、味方にだれ一人死者を出すことなく戦に勝っていました。また、小田原攻めの際には、城を木の後ろに造り、前の木を切りたおすことで、まるでその城が一晩でできてしまったかのように見せました。さらに、軍の配置にも、気を配っているのは、とても頭がよく、戦上手だなと思いました。

三つ目は、秀吉が社会安定化のために、刀狩りや身分制度確立などを樹立させたことです。とくに、身分制度確立は、とても計算されていて、すごいなと思いました。他にも社会安定化のために、秀吉が作った制度があります。そのように社会安定化のためにつくす秀吉が、とても立派だなと思います。

ぼくは、豊臣秀吉の伝記を読んで、今まで知らなかった歴史について、さらに深く知ることができたので、歴史に対する関心が高まりました。また、予想外な点もあったので、読んでいてあきませんでした。さらに、他にもたくさん的人物が登場したので、その人たちについて、もっと知りたいなど興味をもりました。みなさんも、ぜひ豊臣秀吉の伝記を読んでみてください。

【評】 低い身分に生まれた秀吉が天下を統一する武将になるまでには、大変な努力があったと思いますが、多岐にわたって、非凡な才能にも恵まれていたのですね。

《詩歌》 ペンギン

クロイドン 旧小二

さむくてぶるぶる
 あるいてぼとぼと
 さかなを食べてもぐもぐ
 はじっこまでぼとぼと
 とんでばしゃん
 かつこいいなあ

【評】 様子を表す言葉や思ったことを入れ、リズムに気をつけて、すばらしい詩が作れましたね。

